

第2回志賀町地域公共交通活性化協議会
議事録

1. 日 時：平成30年1月22日（月） 14：00～15：00

2. 会 場：志賀町役場 1階 大会議室

3. 出席者名簿

区 分	氏 名	現 在 職 名	備 考
1号委員	庄田 義則	志賀町副町長	副会長
2号委員	稲岡 健太郎	志賀町議会 副議長	
	櫻井 俊一	志賀町議会 総務産業建設常任委員長	
3号委員	仙崎 登喜夫	志賀町区長会 会長	欠席
	松村 和子	志賀町民生児童委員	欠席
	南 進	志賀町老人クラブ連合会 会長	
	干場 昌明	志賀町老人クラブ連合会 副会長	
4号委員	松田 隆一	北鉄能登バス(株) 取締役支配人	
5号委員	酒谷 正人	(株)高浜タクシー 代表取締役	
	戸坂 忠寸計	(有)能登金剛交通 代表取締役	
6号委員	畑 山 修	北陸信越運輸局 石川運輸支局 主席運輸企画専門官	
7号委員	今村 友紀枝	石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 交通政策課 主幹	
8号委員	野崎 寛成	石川県羽咋警察署 交通課長	
9号委員	梨村 要一	石川県中能登土木総合事務所 羽咋土木事務所 維持管理課長	
	関田 勝行	志賀町 まち整備課長	
10号委員	高山 純一	学識経験者（金沢大学教授）	会長
	中川 大	学識経験者（富山大学副学長）	欠席
	池田 隆盛	志賀中学校長	
	中田 明	志賀町商工会 事務局長	
	大正路 哲郎	富来商工会 事務局長	
	川畑 智	志賀町 健康福祉課長	代理 山内 勉
	浜村 大	志賀町 商工観光課長 (志賀町観光協会事務局長兼務)	
	山本 政人	志賀町 学校教育課長	

事務局	出崎 茂男	志賀町 企画財政課ふるさと創生室長	事務局長
	山口 宗浩	志賀町 企画財政課ふるさと創生室 主査	
	北川 真理	計画情報研究所 主任研究員	
	千徳 信好	計画情報研究所 研究員	

4. 協議会次第

1 開会

2 挨拶

3 議事（資料1）

（1）本日の検討内容とスケジュール

（資料1 I. 本日の検討内容とスケジュール）

（2）町民の公共交通利用実態と意識の調査の結果概要

（資料1 II. 町民の公共交通利用実態と意識の調査の結果概要）

（3）志賀町地域公共交通活性化協議会役員を選任について

（資料1 III. 地域および地域公共交通の現況（追加））

（4）地域公共交通の課題（追加）

（資料1 IV. 地域公共交通の課題（追加））

（5）地域公共交通の基本理念と基本方針

（資料1 V. 地域公共交通の基本理念と基本方針）

4 その他

平成29年度第3回志賀町地域公共交通活性化協議会について

5 閉会

5. 議事内容

1. 開会

2. 挨拶

(高山会長)

皆様こんにちは。

今回第2回の協議会ということで、前回の議論を受けて町民3,000人に対してアンケート調査を実施、更に各種団体及び施設の方からもご意見を頂戴したので、本日はその結果を報告する。

私は石川県内のいくつかの自治体でこういった立場で協議会に参加をしているが、志賀町の地域公共交通は非常に手厚く運行されていると思う。ただ、その中でも利用者が少ないことが悩みであると思われる。その意味では、もう少し町民の声を的確に捉え、より利用しやすい地域公共交通としてのコミュニティバスとなって、一般の路線バスの運行に繋げる必要があると思われる。今回アンケート調査に対しても、5割近くの町民の方から回答があった。同じ調査を金沢で行ったとしても、上手くやっても回答率は2割程度だと思われる。そういう意味では、町民の関心も非常に高く、期待されているものと思われる。是非、本日は町民の方からの意見、施設、各種団体の方からの意見も踏まえつつ、来年度には社会実験も行う予定となっているので、それも含めてご意見を頂戴できればと思う。どうかよろしくお願い致します。

3. 議事

(1) 本日の検討内容とスケジュール

<事務局より説明>

(資料1 I. 本日の検討内容とスケジュール)

(高山会長)

本日の検討内容とスケジュールについて、意見、質問等を頂きたい。

特に意見等がないようであるため、次の協議事項「町民の公共交通利用実態と意識の調査の結果概要」に進ませて頂く。

(2) 町民の公共交通利用実態と意識の調査の結果概要

<事務局より説明>

(資料1 II. 町民の公共交通利用実態と意識の調査の結果概要)

(3) 地域および地域公共交通の現況 (追加)

<事務局より説明>

(資料1 III. 地域および地域公共交通の現況 (追加))

(高山会長)

町民の公共交通利用実態と意識の調査の結果概要、地域および地域公共交通の現況について、質問、意見等を頂きたい。

(干場委員)

アンケート調査の結果について、1,401 人から回答があったようだが、資料編の自由意見を見ると、この中にはコミュニティバスを利用しているという人は3名しかいないように見受けられる。アンケート全体ではコミュニティバスの利用者は何名いるのか。

(事務局)

本編資料 8 ページの左下の図で、コミュニティバスを利用しているかという設問に対する回答状況を示しているが、これによると 1,346 名のうち、10.6%、人数にして 145 人がコミュニティバスを利用している。

(高山会長)

本編資料 12 ページにおいて公共交通に対する意識を聞いているが、公共交通がなくなることに對して約 3 割の人が「余り困らない」、「全く困らない」、「関心がない」と回答している。このような現状に對して、協議会としてどう考えるべきか、考えて頂きたい。

(干場委員)

老人クラブでヒアリングを行った際、アンケートの中では現在公共交通を利用している人の意見を聞くことが大切だと申し上げた。例えば、福祉センターは水曜日が休み、温泉センターは月曜日が休みなので、その日はバスが無くても大丈夫、といった意見が期待できるので、できるだけバスの利用者からアンケートを取るべきだと思う。今回のアンケートでは利用者以外の回答結果も含まれており、利用者の本当の声が反映されていないと思われるので、アンケート調査の対象者については考える必要があると思われる。

(戸坂委員)

現在志賀町でコミュニティバスを運行しているが、利用客が少ないなかで、今後町としてどのような形態で公共交通を維持していくかを協議するのが本協議会の目的だと考えるため、公共交通をやめるという議論にはならないと思う。コミュニティバスをデマンド交通に変えようという考え方が町にあると思われる。その辺りが議論すべきところで、アンケートの結果についてはあまり重要視する必要はないと思われる。

(4) 地域公共交通の課題（追加）

<事務局より説明>

(資料 1 IV. 地域公共交通の課題（追加）)

(5) 地域公共交通の基本理念と基本方針

<事務局より説明>

(資料1 V. 地域公共交通の基本理念と基本方針)

(高山会長)

地域公共交通の課題、地域公共交通の基本理念と基本方針について、質問、意見等を頂きたい。

(酒谷委員)

2点申し上げる。1点目は、基本方針の中でデマンド交通という言葉が現れるが、結論ありきというか、なぜデマンド交通なのかという説明が不足しているように思われる。2点目は、本編資料43ページの基本理念で、地域公共交通は観光、まちづくりにも関係していると記載されているが、現状の路線バス、およびコミュニティバスについては観光利用ということは考えられていないので、バスの観光利用を基本理念の中に盛り込むのはかなり難しい問題になると考えられる。基本理念のなかに何をどの程度盛り込むかについては、議論が必要だと思われる。

(事務局)

デマンド交通の導入については、これからどのように対応していくかを検討し、まずは実証実験を行うという段階であり、必ずしもデマンド交通の導入が決定しているわけではない。実験については、デマンド交通の導入に係る経費や、利用者のニーズを把握していくというものであるので、次回の協議会で具体的な路線等についても協議を行って頂きたいと考えている。

観光については、週末だけでも運行できればいいかという議論もあるが、バス事業者の見解、バス車両の空き具合、利用者のニーズも踏まえつつ、次回の協議会で協議したいと考えている。

(戸坂委員)

デマンド交通については実験を行えばよいと思うが、デマンド交通以外にも西山PAへの接続に関しても実験を行えばよいと思われる。

生活バス路線の3路線に対して事業者負担も町が補助を行っているが、国道を走っている生活バス路線に対しても新たに補助を行うという話を聞いている。事業者負担が無いということであれば、現行の路線バスがあまり運行していない時間帯に町がバスを走らせてもよいのではないかと思います。旧町間のコミュニティバスの運行が現行の路線バス会社の経営の妨げになってしまうということも聞いていたが、町が補助を行って事業者負担が無いというのであれば、実験を行ってみてもよいのではないかと思います。

(事務局)

現状、路線バス自体乗客が少なくなっているが、やはり路線バスは死守する必要があると考えている。コミュニティバスと路線バスで競合する路線があるということは好ましくないが、この協議会ではいかにして利用してもらうかという方策を考えたいと思っている。路線バスも含めてどういう形態で運行するのがよいのか、町民がより利用しやすい交通ダイヤの設定も含めながら、今後議論していきたいと考えている。

(戸坂委員)

もちろん既存の路線バスの運行も大切だと考えている。ただ、路線バスを維持しながらも、路線バスが運行していない時間帯に限って町がバスを走らせてもよいと思われる。住民の要望に応えることが町の役割だと思うので、どちらかを廃止するのではなく、共存共栄していけばよいと思う。

4. その他

(高山会長)

次回は3月末に第3回の協議会を予定している。来年度の社会実験も含めて、もう少し具体的な、コミュニティバスの路線の変更も含めた議論を行いたい。

(事務局)

第3回志賀町地域公共交通活性化協議会は平成30年3月29日木曜日の10時から、志賀町役場1階大会議室で行う。また詳細については改めてご案内させていただきたい。

他に特に意見等がなければ、これをもちまして第2回志賀町地域公共交通活性化協議会を閉会致します。長時間ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

以上